

特別委員会設置状況（調査事項）

令和元年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 庁舎のあり方に関する事 (2) 区有施設・公有地等活用に関する事 (3) 区組織と関連団体に関する事 (4) 区内鉄道駅などの公共交通に関する事
オリンピック・パラリンピック推進特別委員会	13	(1) オリンピック・パラリンピックの推進に関する事 (2) 障害者スポーツの推進に関する事 (3) 文化プログラムの推進に関する事 (4) オリンピック・パラリンピック教育に関する事 (5) 大会後の施設活用などレガシーに関する事

平成30年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 基礎自治体のあり方に関する事 (2) 区有施設・公有地等活用に関する事 (3) 偏在税制に関する事 (4) 新公会計制度に関する事 (5) ICTなどの活用に関する事
オリンピック・パラリンピック推進特別委員会	13	(1) オリンピック・パラリンピックの推進に関する事 (2) 障害者スポーツの推進に関する事 (3) 文化プログラムの推進に関する事 (4) オリンピック・パラリンピック教育に関する事

平成29年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 基礎自治体のあり方に関する事 (2) 区有施設・公有地等活用に関する事 (3) 羽田空港の機能強化に関する事
オリンピック・パラリンピック推進特別委員会	13	(1) オリンピック・パラリンピックの推進に関する事 (2) 障害者スポーツの推進に関する事 (3) 文化プログラムの推進に関する事 (4) オリンピック・パラリンピック教育に関する事

平成28年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 国家戦略特区に関する事 (2) 羽田空港の機能強化に関する事 (3) 公有地等・公共施設活用に関する事 (4) 補助金・助成金のあり方に関する事
オリンピック・パラリンピック推進特別委員会	13	(1) オリンピック・パラリンピックの推進に関する事 (2) 障害者スポーツの推進に関する事 (3) 文化プログラムの推進に関する事

平成27年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 国家戦略特区に関する事 (2) 羽田空港の機能強化に関する事 (3) 公有地・跡地活用に関する事 (4) 基金に関する事
オリンピック・パラリンピック推進特別委員会	13	(1) オリンピック・パラリンピックの推進に関する事

平成26年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 公有地・跡地活用と区有施設に関すること (2) 契約に関すること (3) 基金に関すること
オリンピック・パラリンピック推進特別委員会	13	(1) オリンピック・パラリンピックの推進に関すること

平成25年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 契約のあり方に関すること (2) 公有地の活用に関すること (3) 事務事業評価に関すること (4) 受益者負担に関すること
震災対策特別委員会	13	(1) 震災対策に関すること

平成24年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 区有地と区有施設に関すること
震災対策特別委員会	13	(1) 震災対策の見直しに関すること

平成23年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 区の組織と関連団体に関すること (2) 財政に関すること
震災対策特別委員会	13	(1) 震災対策の見直しに関すること

平成22年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 事務事業評価に関すること (2) 公有地活用に関すること (3) 施設のあり方に関すること
環境対策特別委員会	13	(1) 地球温暖化対策に関すること (2) 水辺とみどりの整備に関すること (3) 清掃事業に関すること

平成21年

委員会名称	委員数	調査事項
行財政改革特別委員会	13	(1) 跡地活用に関すること (2) 区施設の活用に関すること
環境対策特別委員会	13	(1) 地球温暖化対策に関すること (2) 水辺とみどりの整備に関すること

令和2年3月6日

品川区議会議長

渡辺 裕 一 様

行財政改革特別委員会

委員長 大倉 たかひろ

行財政改革特別委員会の活動現況について

今期の行財政改革特別委員会では、「庁舎のあり方に関する事」、「区有施設・公有地等活用に関する事」、「区組織と関連団体に関する事」および「区内鉄道駅などの公共交通に関する事」の4件を調査事項とし、以下のとおり委員会活動を実施しております。

「庁舎のあり方に関する事」では、まず、先行事例として平成27年に新庁舎を開設した豊島区役所を視察し、建替えまでの経緯、手法、庁舎機能、および総合窓口の状況等について意見交換を行いました。

8月には、昨期の当委員会における「具体的検討事項のまとめ」を受けて、区から建替え候補地として「A 現総合庁舎敷地」、「B 旧荏原第四中学校」、「C 旧第一日野小学校」「D 土地再編による広町敷地」の4つの案が示されました。

候補地としては様々な観点からD案で進められたいといった意見が多数を占めたことを受け、12月には、広町地区の区有地を再編成して新庁舎計画を検討するために、JRと協議を進めている旨の報告を受け、町会・自治会等の関係団体への説明状況、求められる庁舎機能、庁内検討の状況および今後の進め方等について調査・研究を深めて参りました。

「区有施設・公有地等活用に関する事」では、まず、旧国家公務員宿舎（小山台住宅・峰友寮、大井西・大井東宿舎）、東品川清掃作業所、旧品川消防署東品川出張所跡地を視察しました。

次に、国有地の売却・貸付の主な方針について説明を受け、国有地取得に係るスキームについて見識を深めました。

その後、上大崎三丁目旧国家公務員宿舎跡地活用における保育施設等に併設する機能等について、意見交換を行いました。

また、1月には旧国家公務員宿舎小山台住宅等の解体工事について、アスベスト調査の結果、延期する旨の通知を国から受けたことが報告され、今後、国に対し解体工事の早期実施を要望するとともに、各関係機関と協議を行い、早期事業着手に向けて進めていくことを確認しました。

「区組織と関連団体に関すること」では、区内の公益財団法人である「品川区文化振興事業団」「品川区国際友好協会」「品川区スポーツ協会」の3つの法人と区との関わりを調査対象とし、各団体の実施事業、区からの助成金、指定管理や委託等の区との関わりについて調査・研究を行い、労務体制のチェックや独立性の確保等について意見が出されました。

特に、品川区文化振興事業団については、管理する施設において、災害発生時に区と連携できる体制づくりに努めること、品川区国際友好協会については、ホームステイ事業を継続・充実できるよう支援していくこと、品川区スポーツ協会については、スポーツ・レクリエーションの普及、振興を図るにあたり、環境整備を図ること等といった意見が出され、各団体について一定の見識を深めることができました。

「区内鉄道駅などの公共交通に関すること」では、9月にJR大崎駅、2月に東急武蔵小山駅を視察し、混雑緩和への取組み、バリアフリー・安全対策といった視点から調査・研究を深めて参りました。

JR大崎駅では、駅利用者数の増加率がJR東日本管内においてもかなり多いこと、朝のラッシュ時間帯における駅混雑への対策として、乗車人員の整理についての取組み等に関する説明を受けました。

東急武蔵小山駅では、混雑緩和策として、令和4年度上期から東急目黒線の8両化を予定していること。また、バリアフリー対策として、ホームドア等の設置状況、QRコードを利用したバリアフリーアプリの活用等といった説明を受けました。

これらを踏まえて意見交換を行い、引き続き区として鉄道事業者と適宜協議を行い、環境整備に取り組んでいくことを確認いたしました。

これらの調査・研究をふまえ、今後の品川区の行財政改革の推進に生かしていただくべく、本委員会としてのまとめを作成し、提出いたします。

以上が、これまでの当委員会における活動現況の概要でありますので、ご報告いたします。

令和2年3月6日

品川区議会議長

渡辺裕一様

オリンピック・パラリンピック推進特別委員会

委員長 鈴木 ひろ子

オリンピック・パラリンピック推進特別委員会の活動現況について（報告）

今期のオリンピック・パラリンピック推進特別委員会（以下、「委員会」という。）は、「オリンピック・パラリンピックの推進に関すること」、「障害者スポーツの推進に関すること」、「文化プログラムの推進に関すること」、「オリンピック・パラリンピック教育に関すること」および「大会後の施設活用などレガシーに関すること」を調査事項とし、昨年に引き続き設置され、議会運営委員会での議論をふまえた各項目について、調査を進めてまいりました。

具体的な調査・研究の内容といたしましては、まず「オリンピック・パラリンピックの推進に関すること」のうち、「区内開催競技の盛り上げについて」は、大井ホッケー競技場を視察し、施設の見学を行った後、公益社団法人日本ホッケー協会の方々と意見交換を行ってまいりました。この意見交換の内容を踏まえて、観戦者が一体的に応援できるような工夫やまち全体で盛り上げるための手法など、区内開催競技の盛り上げについて議論を行ってまいりました。「暑さ対策について」は、大井ホッケー競技場の最寄り駅である大井競馬場前駅からのラストマイルを大会開催期間と同時期に歩き、本番に近い暑さの体験とラストマイルの状況を確認してまいりました。その体験等を踏まえ、区として取り組める暑さ対策について様々な提案を行ってまいりました。

次に「障害者スポーツの推進に関すること」については、こみゆにていふらぎ八潮で実施されていたコロンビア共和国パラ・パワーリフティング事前キャンプを視察し、練習を見学した後、選手やスタッフの方達と意見交換を行ってまいりました。また、区における障害者スポーツの取組みに関して理事者より説明を受け、視察で得た感想も踏まえ、事前キャンプやパラスポーツをきっかけとした障害者スポーツの更なる普及等について議論を行ってまいりました。

次に「文化プログラムの推進に関すること」については、しながわ文化プログラムの現況や今年度から新たに取組みがはじまった品川宿の新たな観光まちづくり事業について理事者より説明を受けたほか、品川寺を視察し、旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会の方などから、品川宿の新たな観光まちづくり事業の概要や進捗状況について説明を受けるとともに意見交換を行ってまいりました。この意見交換等に基づいて、地域から文化プログラムを盛り上げていくための取組みなどの研究を進めてまいりました。

次に、「オリンピック・パラリンピック教育に関すること」については、オリンピック・パラリンピック教育アワード校に選出された品川区立八潮わかば幼稚園のしめ縄作りなどの活動を見学するとともに、園長より同園のオリンピック・パラリンピック教育の具体的な取組みについて説明を受けたほか、質疑応答を行ってまいりました。この見学や質疑応答の内容を踏まえ、東京2020大会を契機としたオリンピック・パラリンピック教育の今後の展開などについて議論を行ってまいりました。

最後に、「大会後の施設活用などレガシーに関すること」についてのうち、「有形レガシーについて」は、大井ホッケー競技場の概要や後利用の方向性について理事者より説明を受け、東京2020大会後の大井ホッケー競技場の有効な活用方法や大会を契機としたバリアフリーの推進などについて、委員間で意見交換を行ってまいりました。「無形レガシーについて」は、ボッチャ体験を実施し、障害者スポーツを通じた障害者理解の促進やボッチャの普及啓発などについて、品川区スポーツ推進委員会の方々と意見交換を行ってまいりました。また、区民の観戦機会やボランティアについて理事者から説明を受け、これらの取組みを東京2020大会後へどのようにつなげていくかについて議論を行いました。

以上の調査・研究をふまえ、品川区のオリンピック・パラリンピックの推進に活かしていただくべく、本委員会としてのまとめを作成し、提出いたします。

以上が、これまでの当委員会における活動現況の概要でありますので、ご報告いたします。

令和2年特別委員会の調査事項等について

会派名	名称等	調査事項等
自 民	行財政改革	1. 区有施設、公有地等の活用 備考：荏原第四、旧第一日野小跡地、旧サイクル跡等 2. 公益財団法人 備考：委託事業と補助金 3. 環境 備考：プラスチック、森林吸収等 4. リサイクル 備考：集団回収含む 5. 水族館の運営計画
	オリンピック・パラリンピック推進	1. 機運醸成 備考：プレイベント等 2. レガシー政策 3. アリーナ計画 4. 障害者スポーツ施設 5. 文化プログラム
自・無	行財政改革	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎のあり方に関すること ・危機管理に関すること ・公有地等の活用に関すること
	オリンピック・パラリンピック推進	<ul style="list-style-type: none"> ・東京 2020 大会のレガシーに関すること ・開催延期に伴う影響と今後の取り組みや更なる機運醸成に関すること ・開催を契機とした環境の取り組みに関すること
公 明	行財政改革	1. 庁舎のあり方に関すること 2. 区有施設・公有地等活用に関すること 3. 財源確保に関すること 4. 働き方改革に関すること
	新型コロナウイルス感染症等対策	1. 新型コロナウイルス感染症対策に関すること (東京大会対応含む) 2. 危機発生時における全庁的危機対応に関すること
	オリンピック・パラリンピック推進	1. 機運醸成に関すること 2. 区民・障がい者スポーツに関すること 3. レガシーに関すること
共 産	羽田新ルート対策	区民生活への影響、騒音値、落下物、大気汚染、区民の声、品川区の対応
	新型コロナウイルス感染症対策	感染防止、学校・保育園・図書館等の区有施設、医療・介護・障害者施設、中小企業・雇用支援
	品川区庁舎建て替え対策	現状の課題、庁舎基本構想、計画地、広町開発、議会棟
	防災対策	地震、風水害、要援護者対応、気候変動対策
品 改		※ 設置反対

令和2年特別委員会の調査事項等について

ネット		<ul style="list-style-type: none"> ・震災・風水害および疫病等発生時に対応するための体制構築に向けた検討。 ・公有地の使い方および公的な施設整備について、住民参加のあり方も含めた検討。
無所属	行財政改革	<p>調査事項「人員配置の最適化」 行き過ぎた定数削減は職場を疲弊させ、仕事のスキルの継承に支障をきたすため、時代に合わせて無駄を削減しつつ、必要な場所に手厚い人員配置を検討する。</p>
	子育て環境の充実	<p>調査事項「貧困対策」「ひきこもり対策」「児童虐待対策」「いじめ対策」 出会い、結婚、妊娠及び出産並びに保育・教育に至るまでの子育ての環境の充実のための施策（貧困対策、ひきこもり対策、児童虐待対策及びいじめ対策を含む。）について調査し、及び研究する。</p>
	環境対策	<p>調査事項「防災・減災（震災・風水害等）対策」「危機管理対策」「感染症対策」 環境、経済、教育、保健衛生、情報発信等と密接に関わる世界規模のパンデミック収束後、次の世界的流行前に備え、速やかに緊急海外視察の実施も含めて調査・研究する。</p>

令和2年度特別委員会(案)

※委員会の並び順は前年どおりで仮置き

令和2年4月15日議会運営委員会

名 称	調査事項	備 考(案)
行財政改革特別委員会	1. 区有施設、公有地等の活用に関する事 2. 水族館の運営計画に関する事 3. 危機管理に関する事 4. 財源確保に関する事 5. 働き方改革に関する事	・旧荏原第四中跡、旧第一日野小跡、旧東品川清掃作業所、平塚2丁目寄贈物件 など ・今後の計画 ・全庁的危機管理対応 ・税外収入 など ・テレワーク など
オリンピック・パラリンピック 推進特別委員会	1. 機運醸成に関する事 2. レガシー政策に関する事 3. アリーナ計画・障害者スポーツ施設に関する事 4. 文化プログラムに関する事 5. 環境・リサイクルに関する事	・プレイベント等 ・廃プラ・CO2削減、集団回収含む ・大会を契機とした環境の取り組み